

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
（分担研究報告書）

がん専門相談員の教育・研修プログラムの地域展開に向けた地域実施施設側からの検討

研究代表者	高山 智子	国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供部（部長）
研究分担者	近藤 まゆみ	北里大学病院 看護部（看護師長）
研究協力者	品田 雄市	東京医科大学八王子医療センター 総合相談・支援センター（医療ソーシャルワーカー）
研究協力者	萬谷 和広	大阪南医療センター 患者総合支援センター・がん相談支援センター （患者支援室長・がん相談支援室長補佐）
研究協力者	三木 晃子	香川大学医学部附属病院 がん相談支援センター（がん看護専門看護師）
研究協力者	岸田 さな江	獨協医科大学病院 地域連携・患者サポートセンター 入退院サポート部門退院サポート室がん相談支援センター （看護師長・がん看護専門看護師）
研究協力者	腰田 典也	公立那賀病院 がん相談支援センター（社会福祉科科长補佐）
研究協力者	小郷 祐子	国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供部（研修専門員）
研究協力者	櫻井 雅代	国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供部（看護師）
研究協力者	志賀 久美子	国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供部（看護師）
研究協力者	堀抜 文香	国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供部（特任研究員）
研究協力者	齋藤 弓子	国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供部（特任研究員）
研究分担者	清水 奈緒美	神奈川県立がんセンター 看護局（副看護局長）
研究分担者	八巻 知香子	国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供部（室長）

研究要旨

本研究では、「情報から始まるがん相談支援」をテーマとした研修（以下、情報支援研修とする）の地域展開に向けた準備の過程や運営方法等について、地域実施施設側から検討することを目的とした。R3年度は、情報支援研修の地域展開に向けた3県合同でのオンライン研修をトライアルとして開催することとし、各県の担当者（調整役）を通じて、研修実施に際する必要事項や実施に向けた留意点等のポイントの抽出を行った。

地域での研修開催準備には、研修開催の周知および周知方法、参加者のリクルートと参加者の要件、研修実施のサポーターとしてのファシリテーターのリクルートとリクルート方法などがあげられた。

本検討により、情報支援研修を地域展開する上での地域実施施設側からの課題が示され、その内容に準じて募集要件などについて検討することができた。各県の状況と実施可能性の観点からの摺り合わせは、受講地域によって異なる研修プログラム運用には欠かせないと考えられた。また質の均てん化の観点から、今後さらに、情報支援研修の地域展開に向けた地域実施施設側へのサポートのあり方について検討する必要があると考えられた。

A. 研究目的

本研究では、「情報から始まるがん相談支援」をテーマとした研修（以下、情報支援研修とする）の地域展開に向けた準備の過程や運営方法等について、地域実施施設側から検討することを目的とした。

B. 研究方法

R3年度は、情報支援研修の地域展開に向けたトライアルとして3県合同（栃木・和歌山・四国/4県含む）でオンライン開催することとした。研修開催に際し、本研究班の研究協力者（3名）が各県の担当として調整役を担い、地域の担当者や受講者への連絡・確認等の事務手続きを行うこととした。この各県での準備状況について、本研究班のメンバーでの意見交換と

打ち合わせ会議で共有し、必要事項や改善点などについて議論した。

(倫理面への配慮)

本研究は、患者さんの個人情報などを扱う内容ではなく、特記すべき事項なし。

C. 研究結果

＜情報支援研修の地域展開に向けた準備＞

1. 情報支援研修開催の周知について

各県共に、相談支援部会の研修担当者やコアメンバーを通じて、研修内容や日程について周知を図りトライアル研修参加の意向を確認し、承認を得ていた。

2. 参加者のリクルートについて

他の研修(指導者研修)参加予定者を除く等の対応をした後、参加者を選定し各県10~20名程の参加者が見込まれた。

しかしながら、参加者をリクルートする際の課題として、受講条件を詳細に設定すること、研修開催日を平日にすることにより、本研修の対象者の選定が困難となること、地域実施施設側の担当者より指摘された。そのため、研修参加者は以下の要件を満たす方を対象とすることとした。

■ 研修参加者の要件

1) 下記日程の研修(2日間のプログラム)に参加できる方

1日目: 2021年8月31日(火) 13:00~17:00

2日目: 2021年10月9日(土) 13:00~17:30

テーマ: 情報から始まるがん相談支援

定員: 30名程度

2) 所属施設が栃木県・和歌山県・四国4県(香川県・愛媛県・徳島県・高知県)にある方

3) オンライン研修参加のための安定した通信環境集中して受講できる静かな個室等の環境を準備できる方

4) 相談員基礎研修(3)および相談対応の質保証に関する研修(QA研修)を修了している方が望ましい。

5) 過去に同内容の研修を受講していても応募は可

能とする。なお、受講者5~6名に対し1名の割合でのファシリテーター確保を各県(またはブロック)にお願いする。そのため、過去受講歴がある方の場合は特に、ファシリテーターとしてのご参加をお願いさせていただく可能性がある。

3. ファシリテーターのリクルートについて

前述の通り、演習のグループディスカッションにおけるファシリテーターはグループメンバー5~6名に対し1名が配置されるよう、各県から選出することとした。

しかしながら、ファシリテーターをリクルートする際の課題として、研修内容が不明のままではファシリテーターをすることに不安であるとの意見があることが、地域実施施設側の担当者より報告された。そのため、研修参加者へは研修の位置づけと研修内容を示すこととした。

■ 研修の位置づけ・研修内容

1) 研修の位置づけ

主催: 厚生労働科学研究費補助金(がん対策推進総合研究事業)「がん患者の個々のニーズに応じた質の高い相談支援の提供に資する研究(20EA1015)」(研究代表者: 高山智子) 研究班

共催: 国立がん研究センターがん対策情報センター

- ・研究の一環として実施する研修であるため、参加費用は無料とする。
- ・本研修は「国立がん研究センター認定がん専門相談員国立がん研究センター公式サイトへのリンク」の認定申請の際、III群の単位(2単位分)として使用することができる。(新規申請、更新申請共に使用可能)また、更新申請の際は、II群の単位としても使用可。

2) 研修内容

研修の主なプログラムは、がん対策情報センター主催の情報支援研修に準じるが、より多くの相談員が参加できるよう、医師向けの診療ガイドラインは使用せず、「がん情報サービス」や「患者向けガイドライン」を活用した医学情報の提供および意思決定支援を目指す演習を予定する。

4. 研修参加者の募集について

研修参加者の募集は、地域実施施設側の担当者が行い、必要事項を取りまとめた上で、研究担当者へ提出する方式とした。また、募集要項は国立がん研究セ

ンターがん情報サービスのHP上で限定公開し、各県の担当者および研究事務局の連絡先を示すこととした。

D. 考察

本研究班での検討により、情報支援研修を地域展開する上での地域実施施設側からの課題が示され、その内容に準じて募集要件などについて検討することができた。

今後も、情報支援研修の3県合同オンライン開催に向けた準備を進め、実際に研修を開催した上での各県での取り組み内容を明らかにすることで、情報支援研修の地域展開に向けた地域実施施設側へのサポートのあり方について検討する方針である。

E. 結論

情報支援研修を地域展開する上での地域実施施設側からの課題が示され、その内容に準じて募集要件などについて検討することができた。

F. 健康危険情報 特になし

G. 研究発表

1. 論文発表 なし
2. 学会発表 なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
2. 実用新案登録
3. その他
なし